

閉会中総務委員長報告

1. 開催日 令和4年10月5日(水) 13時～
2. 場所 第4委員会室
3. 出席者 望月委員長、藤川副委員長、森、奥村、中土、副田各委員

4. 審議事案

①8月18日開催された「消防団とのまちづくりトーク」結果のまとめ

多くの意見に対し、テーマを絞り込みまとめる(8月18日の委員長報告参照)

当委員会で審議評価区分を行った結果、A,B,C 区分評価となりました。意見がある項目には意見を添付

- 評価区分 A 執行部へ送致
評価区分 B 議会(委員会)で検討
評価区分 C 参考意見として聞いておく

評価区分

- 1) 仕事中的出勤 仕事から抜け易い環境づくり B
 - ・会社にプラスとなる恩恵(消防団関係企業への優先・優遇策)
団員出勤後市役所より、出勤の礼状を出す事を執行部へ送致
 - ・市役所からの出勤要請があると、出勤し易い
前向きに検討するよう執行部へ送致
- 2) 情報伝達の改善 B
 - ・団長等の幹部から団員への伝達手段がない。
(一般団員、無線機未整備であり、災害時には、携帯不通もある)
 - ・受令機対応の専用ラジオ等の整備がないため、通信を受信できない。
当委員会より、令和5年度受令機の予算要望をする
 - ・市メール配信サービスは消防団員から発信が出来ない
当委員会より、令和5年度受令機の予算要望をする
 - ・女性団員への考慮も必要であるが、メール(グループ)伝達が無い。
- 3) 処遇面 A
 - ・昼夜、休日の費用弁償に区別が無い。(他市との比較)
 - ・出勤に対して、団員一律。(団長、副団長、一般)
 - ・個人企業の場合 出勤の時間帯仕事が中断し、納期への皺寄せが発生する。
 - ・消防団員としての優遇策、現在無い。(例、花火大会に消防団員用の席)
- 4) 装備品 C
 - ・現在、与えられた範囲内での活動が基本。

5) 女性消防団

- ・ 湖南市に、無い。
 - ・ 災害時には、女性としての女性への区分け対応が必要。
 - ・ 後方支援部隊としても必要。
 - ・ 現在、在籍している2名は、積極的に活動に参加している。
 - ・ 女性消防団員増への施策が必要。
- ・ B評価の項目について、審議した結果当委員会では、次年度へ予算要望することとなりました。

※3 常任委員会の委員長、議長、副議長(議会改革推進特別委員長)、議会改革推進特別委員会副委員長での協議において、各常任委員会での議論の内容に照らして検討の結果、総務常任委員会独自の予算要望は今回は行わず、単純に総務常任委員会における意見の一つとして列記することにとどめとなりました。